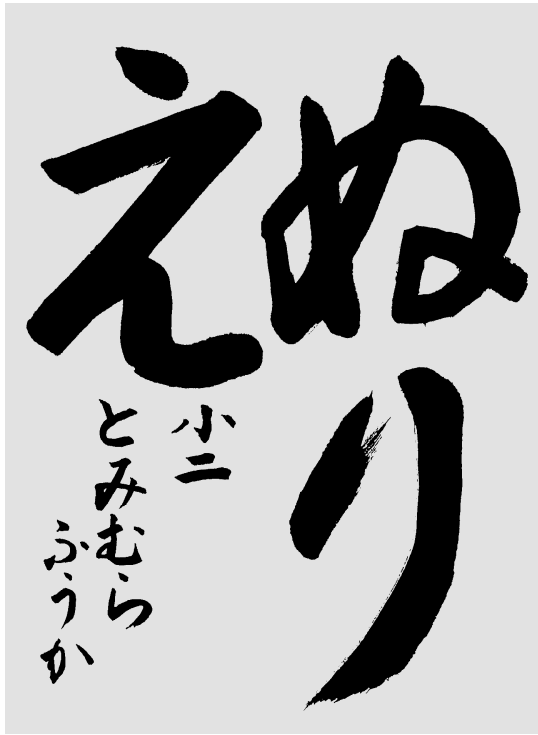


〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

※1月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、2月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学2年参考手本



柳橋香仙先生

幼・小学1年参考手本



加瀬澄春先生



稲垣小燕先生



吹田紅扇先生

〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

※1月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、2月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学4年参考手本



飯高和子先生

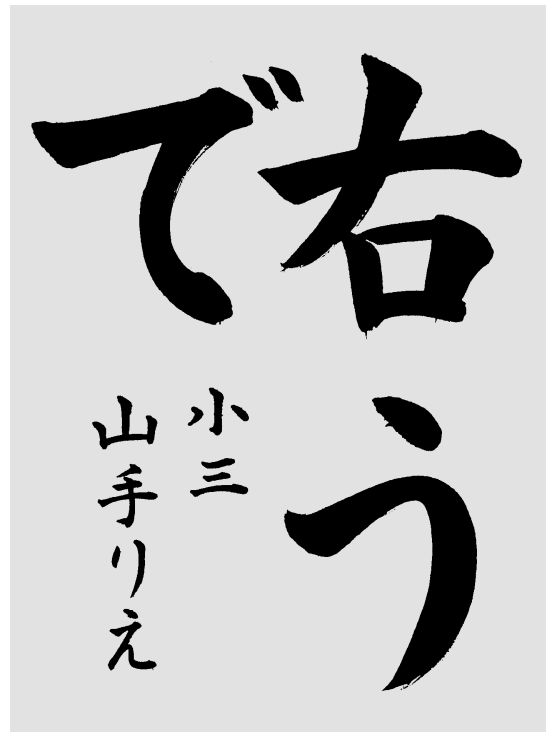
小学3年参考手本



島田白露先生



北村白琉先生



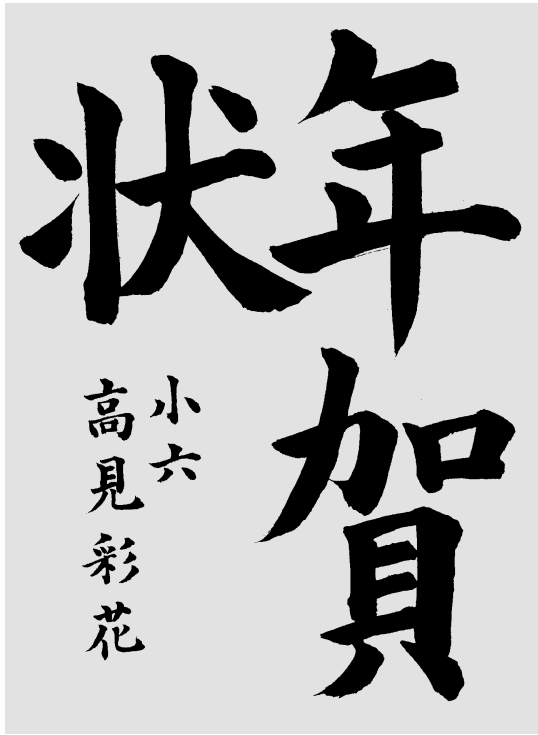
大平邑峰先生

〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

※1月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、2月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学6年参考手本



名越蒼竹先生

小学5年参考手本



大野祥雲先生



弓削光峰先生



板垣洞仙先生

〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

※1月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、2月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

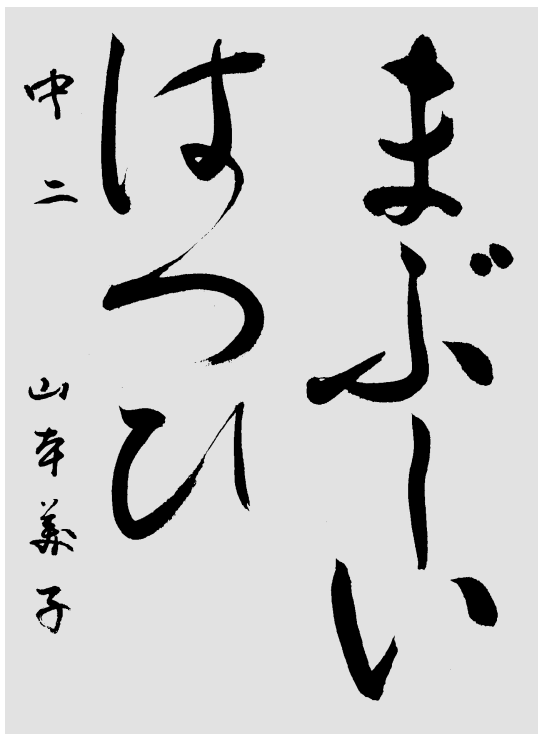
中学全学年参考手本 (中学生は、どの課題を書いてもかまいません。)



恩 地 春 洋 先 生



辻 元 大 雲 先 生



砂 本 杏 花 先 生



浜 谷 芳 仙 先 生

〔1月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

筆者 恩地春洋先生
解説

〔1月10日締切課題〕 用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
※1月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、2月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

支部名									
	は		お						
だん・きゅう	し		正						
	ず		月						
かくねん	か		の						
一	で		あ						
なまえ	す		は						
	ぎ		す						
	た		。						
	ゆ								
	ま								

「お正月」

正のひつじゅんを正しく書きましょう。



さいごのかくをながくかく
へひつじゅんく
一 T F F 正



たてながにかく。
そる

ちゅうしん



「とめ」「はらい」「にちゅうい」

〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名				
	な			
	で	重		
段・級	運	い		
	び	荷		
学 年	ま	物		
	し	を、		
名 前	た。	み		
	。	ん		
	三			
	佐藤真由			

支 部 名				
	ぼ			
	く	夜		
段・級	は	が		
	海	明		
学 年	に	け		
	つ	る		
名 前	い	こ		
	た。	ろ、		
	二			
	佐藤大地			

「荷物」
とくに、横の分間（画と画との間）に
気をつけて字形をととのえましょう。
入る方向に注意
（ひつじゅん）
一サハサ荷荷

「運」
軍とえ（しんにょう）の組み立て
「二」の角度に注意

「物」
ななめの分間（画と画の間）に
気をつける
（とめ）
ノム牛牛

「夜」
のびやかにほらう。
（とめ）
その気味に

「明」
「日」は小さめにする
（ちゅうしん）

「海」
小さくはねる
「おれ」の方向にちゅうい。
（ひつじゅん）
、シシシ海海海

「たび」
かん字の「とめ」「はね」「はらら」を正
しく書きましよう。

〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支部名	物を 輸入 して います。 。	の 貿易 で、 多くの 農作	日本 は、 ア メリ カと
段・級			
学 年			
名 前			
	五		
	鈴木		
	駿		

支部名	光 っ て い ま し た。 。	中 に は、 空 一 面 に 星 が	プ ラ ネ タ リ ウ ム 館 の
段・級			
学 年			
名 前			
	四		
	鈴木		
	彩花		



はらいの角度に注意



日と勿の組み立て



心と貝の組み立て

外形



『貿易』
画数の多い漢字を正しく書きましょう。



中心と横分間を整えて書きましよう。
日と生の組み立て



分間(画と画の間)を整えて書きましよう。
一筆順
一ア 而而面



止め
よこが出る
たてが出る

『プラネタリウム』
特に「館」の字形を整えましよう。

〔1月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中学生

小学6年

支部名	誤って理解しているようです。 時代遅れの考えや行動。現況を 時代錯誤（じだいさくご）
段・級	
学年	
名前	
千葉友菜	

支部名	コントロタワー から承認が出た。四二 二便の飛行許可である。
段・級	
学年	
名前	
柳谷駿	

錯 誤 現 況

『時代錯誤』
 かなは漢字より小さく書きましょう。
 〈簡単な行書〉
 全体につづけて書くつもりで
 最後の二画の形が変わる
 終画でつり合いをとる
 九・十画をつづけて書く
 十一画は止める
 二・三画目はつづける
 六・七画目をつづける
 八画目は止める

中心
 飛

四画が中心になる。左右のつりあいよく
 〈筆順〉
 へ へ へ へ 飛

認

はねの方向に注意
 「へん」と「つくり」の調和

中心
 承

〈筆順〉
 っ 了 手 序 承 承

『飛行許可』
 ていねいな運筆で字形を正しく書きましよう。



3年	右	ウ ユウ みぎ	ノ	ナ	ナ	右	右
4年	朝	チヨウ あさ	一	十	吉	卓	朝 朝
	馬	バウ ま	丨	冂	冂	厶	馬 馬
5年	羽	ウ は はね	丿	习	习	羽	
	根	コン ね	木	杓	杓	根	根
	静	セイ ジョウ しず しず・か しず・まる しず・める	主	青	青	静	静 静
6年	賀	ガ	カ	加	智	賀	
	状	ジョウ	丨	丨	丨	状	状
中学	秘	ヒ ひ・める	禾	禾	秘	秘	秘
	密	ミツ	宀	宀	宀	宀	宀 宀 宀 密
	頭	トウ ズ ト あたま かしら	豆	豆	豆	豆	頭 頭
	寒	カン さむ・い	宀	宀	宀	宀	宀 宀 宀 寒 寒

行書を学ぼう (161)

(中学生の課題より、恩地春洋先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

電

電

太

太

秘

秘

池

池

陽

陽

密

密

ひらがなの字源 (161)

ひ	つ	は	い	し	ぶ	ま	源字	字形
比	川	波	以	之	不	末		
比	川	波	以	之	不	末		
ひ	つ	は	い	し	ぶ	ま		
ひ	つ	は	い	し	ぶ	ま		

※源字については、異字体から変遷したもの*印を付して()にその字体を記した。
 ※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育
 全国大学書写書道教育学会編より転載

漢字に親しもう

一月号中学生の課題「頭寒足熱」から今回は、数字の出て来る四字熟語をいくつか紹介します。

『一朝一夕』 いちちよういつせき	「一朝一夕にはいかない」というふうに使ひ、物事は長い歳月をかけて次第にでき上がるということを言う。
『三寒四温』 さんかんしおん	初春に、三日ほど寒い日が続いた後、四日ほど暖かい日が続くのを交互に繰り返す現象。立春すぎに少しずつ暖かくなり、春めいてくる様子。
『七転八起』 しちてんはつき	七度失敗して転倒しても、またくじけず起きあがってチャレンジするさま。心意気。これくらいの根性があれば運もついてきます。
『千客万来』 せんきやくばんらい	多くの客が次から次へと来ること。商売繁盛のたとえ。商売に関係なくいろいろな人が次々と訪れる状態のたとえにも使う。

編集余録

○昇級試験が終了し、新たに特待生になったお友達おめでとうございます。全日本学校書道連盟会長で今回の審査長の辻元大雲先生から皆さんにメッセージがあります。よく読んで是非今後の参考にしてください。

○ノーベル化学賞を授賞された鈴木章・北海道大学名誉教授と根岸英一・アメリカ、パデュー大学特別教授、二人に日本政府から文化勲章も贈られ祝賀ムードも高まっています。ノーベル賞の授賞式は提唱者のアルフレッド・ノーベルの命日、12月10日にストックホルムで華やかに開かれます。二人の師であるハーバート・ブラウン博士の口癖は『教科書に載るような研究をしろ。』実に深い言葉であります。普段何気なく見ている教科書ですが、大切なことが沢山載っています。教科書の扱い、もっとも大切にしたいといけませんね。

○私事ですが、11月に2週間ほど生まれて初めて入院しました。原因は十二指腸潰瘍からの長期出血による極度の貧血で400ccを4本輸血しました。そうしたらものすごく元気を回復しました。輸血をしていただいて、沢山の方々の善意で成り立っていることに気がきました。全国的に血液が不足しているようですが身をもって献血の大切さを感じ、書の教室の諸友の皆さん、保護者の皆様へ心からお願い、献血にご協力をお願いいたします。
(鄭街)